

階上中

発展願い全校で取り組む



これがイチオシ

災害対応力 身に付ける

階上中学校では、防災学習を総合的な学習の時間などで行っています。個人で課題を設定し、課題解決に向けて仮説を自身で立て、考察・検証する探究型の学習を行っています。

学習では、探究学習コーディネーターさんや東北大災害科学国際研究所の佐藤翔輔先生にご協力をいただいています。答えが見えない課題に対して自分なりの答えを見つけることを繰り返し、災害に対して考えを深め、課題解決力や災害に対応する力などを身に付けています。

学校名 気仙沼市立階上中学校
所在地 気仙沼市長磯中原125
創立 1947年
電話 0226(27)2304
校長 一丸 孝博
生徒 95人

階上中学校には先輩方から受け継がれている「三大伝統」があります。①エール②あいさつ③防災学習の3本の柱です。私たちは、伝統を大切に、さまざまな活動に取り組んでいます。

「エール」は、応援団の指揮のもと、運動会や壮行会などで披露します。応援団と全校生徒が掛け合う独自のスタイルで、迫力のある声量とテンポの良さが特徴です。過去15年の生徒会テーマを大声で連呼し、伝統を受け継いでいます。



運動会でエールを披露する生徒たち

編集委員 畠山隼輔、小野寺和佳、尾形翔、小野寺優向、三浦好未、佐藤ひなた（3年） 指導教員 鈴木雄太、大野実紗

3本の柱活動の中心に

わが校わがまち スクール通信



次回は
南材木町小(仙台市)
登米中(登米市)

伝統つなぎ安全で楽しく

また、学校のシンボルの樹齢130年のイチヨウの木が基にしたキャラクターがいます。その名は「イチヨッピー」。みんなで「あいことじろ」を守って、安全で楽しい学校生活を送るため

「あいさつ」は、生徒会を中心に、心と心がつながることを目指して活動を進めています。自分から行う「先行あいさつ」を心がけ、学校生活が活気あるものとなっています。



校庭のイチヨウと学校独自のキャラクター「イチヨッピー」

編集委員 松田喜花、川田可絃、奥山香羽、伊藤駿希、佐藤央希、石田逢人（6年） 指導教員 大場大輔

連坊小路小



これがイチオシ

対話スキルで問題解決

連坊小路小学校では、話し合い活動が活発に行われています。活動を良くするために「対話スキル」と呼ばれる技術があります。具体的には、話している人に安心してもらうための聞き方や反応の仕方、発表の仕方などです。

対話スキルを活用して、学校の廊下を走らないようにするための方法や、兄弟学年との異年齢交流で何を行うかなどを話し合っています。問題点を解決するためには時間がかかりますが、私たちや学校のために一生懸命話し合っています。

学校名 仙台市立連坊小路小学校
所在地 仙台市若林区連坊1の7の27
創立 1886年
電話 022(256)6384
校長 藤原 秀晃
児童 535人